

電子署名を行う上での注意事項(2)

■ 電子署名の受取側が確認する事項

電子署名を受け取った側は、電子署名の「検証」を行う必要がある。

「検証」とは？ 電子証明書の有効性の確認(電子証明書の記載内容の確認を含む。)
メッセージダイジェストの照合

電子証明書の失効(いつ失効されるかは分からない)

電子証明書は有効



電子証明書は無効

電子署名の有効性を確認する必要がある時点で、再度検証を行うことにより確認可能。

電子署名の有効性を確認する必要がある時点では検証行為そのものは行えないので、「検証を適切に行った」ということを証明する。

受取側は、

受け取った後、速やかに電子署名を検証すること

電子署名の検証に関する情報を残しておくこと

が望ましい。

